みんなの声をカタチにかえる。

坂下しげき県議会報告

発　行／坂下茂樹事務所　〒272-0022 市川市鬼越2-5-8

ホームドアの設置促進を!

鉄道駅乗降客のリスク回避

安全・安心な街づくりに打ち込む坂下しげき県議（市川市選出、３期）は12月定例県議会で登壇し、県民の生命と暮らしを守る政策などについて熊谷知事らに聞きました。駅の乗降客の安全を守るため、ホームドアの設置が進められていますが、坂下県議は地元市川市内の鉄道駅におけるホームドア設置見通しについて質問、また、市内の道路整備についての取り組み状況を尋ねました。坂下県議の質疑と県執行部の答弁を紹介します。

坂下県議の信念

私は、県議会で一貫して申し上げていることがあります。

千葉県の行財政運営は県民の税負担、すなわち県民の汗によって成り立っているということであります。

従いまして、行政も議会も県民の方が何を望んでいるのかということを常に追求し、対応していかなければならないということであります。そのためには、あらゆる手段を講じて財源を確保し、事業の選択に当たっては県民ニーズを的確に吸い上げ、将来にも責任が持てる県政運営を行わなければなりません。そして、最少の経費で最大の効果を上げる努力を忘れてはなりません。

12月定例県議会一般質問

登壇し一般質問を行う坂下しげき県会議員

坂下議員　県民が日常的に使用している交通手段として鉄道がある。日々の生活に欠かせないものだが、駅ホームでの転落など命の危険性もある。

危険を予め回避し、命を守ることができるものに、ホームドアの設置があるが、市川市内の鉄道駅におけるホームドアの設置見通しはどうか。

総合企画部長　ＪＲの計画では、総武線の各駅停車ホームが令和７年度末までに、それ以外のホームが令和14年度末頃までに、それぞれ整備するとしています。

また、東京メトロの計画では、東西線の各駅について、令和７年度までに整備するとしています。

県としては、ＪＲや東京メトロに対して、早期整備を働きかけるとともに、市町村にも積極的に取り組んでいただけるよう、県の補助制度の周知や必要な予算の確保に努めてまいります。

要望　**坂下議員**　ホームドアは、県民の日々の生活における命のリスクを回避することができる非常に重要なものである。鉄道会社と協議し、県民のために早期に進めていただきたいと思う。

「市川駅北口」標識 国道14号交差点に設置

坂下議員　国道14号から市川駅に接続する交差点への交差点名標識設置に向けた取り組み状況はどうか。

県土整備部長　国道14号からＪＲ市川駅北口に接続する交差点には、市川市及び警察署と協議を行い、「市川駅北口」とする交差点名標識を設置してまいります。

国道14号のＪＲ市川駅北口に入る交差点に設けられた標識

坂下しげき PROFILE

経　歴

昭和49年11月	市川市生まれ
昭和62年３月	市立曽谷小学校卒
平成２年３月	市立第一中学校卒
平成５年３月	船橋法典高校卒
平成９年３月	日本文化大学卒 金子和夫県議秘書
平成15年４月	市川市議会議員初当選 （2期連続当選）
平成23年４月	県議会議員初当選

現　職

県議会　総合企画企業常任委員会委員

県政や地元 市川市のご相談、ご要望をお寄せください

坂下しげき 県議事務所　〒272-0022 千葉県市川市鬼越2-5-8（旧金子和夫事務所）
TEL047-318-0055　FAX 047-318-0500

公式ホームページもご覧ください。坂下しげき　検索　で簡単検索! ▶▶▶ http://gogo-shigeki.com

県道市川松戸線の国府台病院⇔矢切駅方面

安全な歩道へ側溝を暗渠化

坂下議員　県道市川松戸線の国府台病院から矢切駅方面にかけての歩道は、幅員が1メートルから2メートルで、側溝の蓋による段差が生じている状況です。歩道を拡幅するには、用地の確保が必要ですが、沿線に人家が連担しており、多くの費用と時間を要することになります。

　このため、幅員全体の段差解消を図ることによって、安全な歩行空間となるよう、昨年度から側溝の暗渠化に取り組んでいます。これまでに西側の歩道において３８０メートルの改修が完了しており、今年度は、東側の歩道１５０メートルの改修を実施する予定です。

議場の自席で再質問を行う坂下県議

市川市鬼越二丁目国道14号交差点 左折レーンが必要

坂下議員　市川市の国道14号鬼越二丁目交差点に左折レーンを設置すべきと考えるがどうか。

県土整備部長　国道14号と県道市川印西線が交差する鬼越二丁目交差点では、県道側直近にある京成線の踏切の影響を受け、国道14号から印西方面への左折車が滞留し、千葉方面への直進を阻害することがあります。

　現在、この解消にも寄与する、京成線をアンダーパスする立体交差事業を行っているところですが、事業完了までの対応として、当該事業で取得済みの用地を活用して、国道14号側に暫定的な左折レーンを確保するため、警察と協議を実施しているところであり、協議が整い次第、工事に着手する予定としています。

県道市川浦安線の市川インター北側交差点 走行位置を明確に 接触防止へ路面標示

坂下議員　県道市川浦安線の市川インター北側交差点において、市川インター側からの左折車と直進車との接触防止対策が必要と考えるがどうか

県土整備部長　市川インター側から左折レーンを走行して交差点に進入した車両が、直進してしまう場合があることから、交差点内に車両の走行位置を明確にする路面標示を年度内に設置する予定です。

要望

坂下議員　県道市川松戸線の国府台病院から矢切駅方面にかけての歩道は非常に幅が狭く、小学生から大学生の通学路でもあり、生活道路にもなっている。しかも、非常に交通量が多い道路であり、県民生活の安全を守るため、なんとしてでも進めていただきたいと思う。

　道路整備については、日頃より安全性を考え、善処していただいていると思っている。今回質問した道路課題も非常に深刻な問題なので、事業に着手していただくよう、強く要望する。

新型コロナ罹患患者への保健所からの連絡に遅れ 令和3年夏

坂下議員　令和3年の夏の感染拡大期において、新型コロナウイルス感染症に罹患し、高熱が続いている方に対して、保健所から最初の連絡があるまで、約1週間かかった事例があった。同じように不安で苦しい思いをされた方が多くいらっしゃると思う。同じことを絶対に繰り返さないように対策を万全にする必要がある。

　そこうかがうが、陽性判明後の保健所からの連絡体制について、夏の感染急拡大時は、どのような状況だったのか。また、感染の再拡大に備え、どの程度の新規感染者を想定し、どのような体制としていくのか。

保健医療担当部長　今年の夏の感染拡大時には、新規感染者数の急増に伴い、発生届を受理してから陽性者へ連絡するまでに、遅れが生じました。

　このため、1日の新規感染者数を令和3年の夏の最大となる約１８００人と想定し、陽性判明の当日または翌日までに連絡を行えるよう、迅速に職員を派遣する全庁応援体制の確立や、人材派遣の活用などにより、保健所の体制を強化してまいります。

要望

坂下議員　令和3年夏の感染拡大時に非常に苦しい思いをされた方、命を落とされた方がいらっしゃる。

　感染の再拡大に備えた体制について、答弁をいただいたが、制度設計が曖昧な気がした。命にかかわることなので、前回の対応を細かく検証し、同じことを繰り返さないように、対策を徹底していただきたい。ＰＤＣＡサイクルをしっかりと実施し、万全を期していただきたい。

市町村職員中央研修所宿泊療養施設に活用を

坂下議員　宿泊療養施設の確保にあたり、民間のちばぎん研修センターを使用するとうかがっているが、県内には、バス・トイレ付の個室を十分に備えた「市町村職員中央研修所」が千葉市美浜区にある。ちばぎん研修センターと比較して、遜色ない設備が整っている公的な施設。この市町村職員中央研修所、通称市町村アカデミーを有効活用できないのか。

保健医療担当部長　宿泊療養施設については、県内の市町村職員中央研修所も検討しましたが、専門家から、室温設定が全館一律であるため、発熱している患者に対する医学的な管理が十分にできないのではないかとの指摘等があり、残念ながら断念した経緯があります。

　県としては、宿泊療養施設を確保するに当たっては、個室単位の空調管理が可能なホテル借上げを中心に対応してまいります。

再質問

坂下議員　駐車場に設置するプレハブ型の宿泊療養施設について、設置に要する経費、１ケ月当たりのリース代、撤去費はいくらか。

保健医療担当部長　設置に要する経費は、１億３７６０万円、１ケ月当たりのリース代は１８２万円、撤去費は、２０７９万円となります。

万全の体制整備を

要望

坂下議員　プレハブ型の宿泊療養施設については設置にかかる経費が1億3760万円ということだった。

　一方で、市町村職員中央研修所にはシャワー、トイレを備えた個室が３００室完備されていると聞いている。また、市町村職員研修所には広い研修室が複数あり、ちばぎん研修センターで設置するような臨時の医療施設も設置できると思う。

　今回一例として市町村職員中央研修所を挙げて質問したが、最小の経費で最大の効果を上げるため、経費についてもしっかりと精査をしていただき、今後の感染拡大に備え、万全の体制を整えていただくように要望する。

河川の草木伐採、浚渫 日頃からの管理重要

河川の溢水防止へ浚渫などしっかりとした管理が求められている＝市川市の大柏川

坂下議員　水害から県民生活を守るため、河川におけるリスク低減対策として、草木や土砂の管理が重要となるが、市川市域の河川において、草木の伐採や浚渫をどのように進めていくのか。

県土整備部長　県では、河川本来の流下能力を確保するため、緊急浚渫推進事業を活用し、河道内に堆積した土砂の撤去等を進めています。

市川市域では、大柏川、派川大柏川、春木川及び国分川において、土砂堆積や草木の繁茂が著しい区間を、計画的に対策を行っているところです。

引き続き、巡視等により堆積状況などを確認しながら、事業を着実に推進し、治水機能の維持に努めてまいります。

要望　**坂下議員**　河川における草木の伐採や浚渫については、災害時にリスクとならないよう、日常的にしっかり管理していただくことを要望する。

保育施設の障がい児受け入れ 促進へ新たな独自施策を

坂下議員　保育施設での障がい児の受け入れを促進するため、東京都では、例えば、保育施設に対して、障がい児１人につき、月額４万５０００円の加算を行っている。このような障がい児の受入れに伴う、本県独自の加算制度を創設できないのか。

健康福祉部長　県では、障害児の受け入れ促進を図るため、民間保育所等が障害児を受け入れるために国の基準を上回って保育士を配置した経費に対して、県独自で助成をしており、保育士１人当たり月額16万８９００円を措置しております。

再質問

坂下議員　保育士の確保は重要なことだが、受け入れの促進や安全性を高めるためには、東京都のような対象児童１人当たりの受け入れに対する助成も有効であると思う。

千葉県として、毎年、ただただ同じ政策を繰り返すだけではなく、何が必要かを考え、新たな政策を展開する必要がある。そこでうかがうが、現在の政策で十分、障がい児の受け入れに関するニーズを満たせていると考えているのか。

健康福祉部長　県内の保育所等におきましては、令和２年度に７４９施設で、２６１７名の障害児を受け入れたところであり、保育の実施主体である市町村において、適切に受け入れを行っているものと承知しております。

落雷防ぐ避雷針PDCE 県有施設への設置提言

坂下議員　地球温暖化により雷の発生件数が増加するとの研究がある。

現在の避雷針では、落雷による電圧が強い場合、電流の一部が建物に侵入し、電子機器などに深刻な影響を与える可能性がある。県庁、県警本部等における電子機器のシステムダウンや、電力、通信、照明、セキュリティ等の機器障害は、非常に大きなリスク。

そこで、県有施設において、落雷を抑止・制御し、建物内部の保護ができる避雷針・PDCE等の設置を検討すべきと考えるがどうか。

総務部長　県有施設は、その規模や立地条件等様々であることから、ご指摘の避雷針の設置については、その有効性や、他の公共施設の導入状況等を見極める必要があると考えています

再質問

坂下議員　保育施設での加配の他に県単独の助成について今後検討していくのか。

健康福祉部長　県では、独自に保育士配置改善事業を実施しており、また、国におきましても、民間保育所等に対する給付費の障害児加算や施設改修への補助等を実施しているところです。

県といたしましては、こうした既存の制度を十分活用しながら、保育所等における障害児の受け入れ促進を図ってまいりたいと考えております。

平等に安心して保育 受けられる環境作り

坂下議員　保育施設でのアレルギー児対応、外国人児童受け入れ、夜間・休日保育、年末年始保育、病児・病後児保育などの充実に向けて、東京都のような、千葉県独自の加算制度を創設し、促進できないのか。

健康福祉部長　配慮が必要な子どもへの支援のためには、保育士を手厚く配置する必要があることから、県では、国の基準を上回って保育士を配置した民間保育所等に対し県独自で助成をしており、令和２年度は５２１施設に約９億６千８百万円を助成いたしました。

要望　**坂下議員**　多様な保育環境の充実に政策の舵を切る時期であり、すべての児童が平等に安心して保育が受けられる環境づくりのため、しっかり予算措置していただくように要望したい。

医療的ケア児の支援 センター設置を要望

坂下議員　医療的ケア児支援法の施行により、学校、保育施設、幼稚園等における医療的ケア児に対する支援が地方公共団体の責務となっているが、同法の施行を受けて、県では今年度どのような取り組みを始めたのか。

健康福祉部長　県では、保育の実施主体である市町村に対し、保育所等への看護師配置に係る補助事業の更なる活用を促すとともに、特別の配慮が必要な幼児を受け入れる私立幼稚園に対し、補助を行っています。

また、県立学校に対しては、受入体制の整備に向けてガイドラインを策定し、研修会を開催したほか、市町村教育委員会等に対し、小・中学校での医療的ケアについて情報提供を行っています。

坂下議員　医療的ケア児に対する支援について、令和４年度当初予算ではどのような取り組みを考えているのか。また、医療的ケア児支援センターの設置に向けた検討状況はどうか。

健康福祉部長　医療的ケア児が、個々の状況に応じた適切な支援を受けられるようにするためには、専門的な人材を育成するとともに、地域における支援体制を構築していくことが重要です。

このため、県では、当事者からの相談対応や人材育成、関係機関との連絡調整等を行う支援センターの設置を含め、今後の取り組みについて検討しているところです。

要望　**坂下議員**　全ての児童が平等に充実した環境で保育や教育が受けられるよう予算をしっかり措置し、本県として誇れる政策を他県に先駆けて実施していただきたい。

国から検討が要請されている支援センターの設置、そのほか保育園、学校等への受け入れ促進のための県単独補助の創設について強く要望する。

成田空港へ市川市から直通バスを

坂下議員　市川市内から成田空港へ県内各地との交通アクセスの改善は、大変重要であると認識しております。

市川市内からの直通バスは、利用者の利便性が向上するものと考えますが、事業者からは、鉄道との競合により、採算性確保などの課題があると聞いています。

県としては、事業者や市の考えも聞きながら、路線新設の可能性について、意見交換をしてまいりたいと考えております。

総合企画部長　県では成田空港と県内各地との交通アクセスの改善は、大変重要であると認識しております。

市川市内からの直通バスは、利用者の利便性が向上するものと考えますが、事業者からは、鉄道との競合により、採算性確保などの課題があると聞いています。

県としては、事業者や市の考えも聞きながら、路線新設の可能性について、意見交換をしてまいりたいと考えております。

アルミ缶の備蓄飲料水 長期保存でき コスト削減も

坂下議員　災害時の救援物資として、飲料水の確保は非常に重要。本県ではペットボトルの備蓄水を調達しているが、ペットボトルより長期の保存が可能なものとしてアルミ缶があり、長期的にはコスト削減にもつながる。

そこで、救援物資について、ペットボトルの備蓄水からアルミ缶の備蓄水へ変更していくべきと考えるがどうか。

防災危機管理部長　現在、県で備蓄している飲料水は、保存用として一般的に流通し、調達が容易なペットボトルのものを備蓄しているところです。

今後の備蓄に当たっては、調達のしやすさや価格、保存期間、他団体の事例などの情報を収集し、アルミ缶を含め、備蓄に適した製品について研究してまいります。

要望　**坂下議員**　救援物資としてのアルミ缶の備蓄水については、いずれも検証しながら、促進していただきたい。

先人からバトン引き継ぎ 知事「未来へ投資」

坂下議員　令和４年度当初予算編成の考え方について熊谷県政における特徴や森田県政との違いはどのようなものか。

知事　まずは、県民が安全・安心に活動できる環境の確保に最優先で取り組み、その上で、現在策定している総合計画案との整合性を図りながら、県民サービスの向上や、本県の将来の発展に資する事業などに重点的に予算を配分したいと考えています。

今日の千葉県の発展は、先人の皆様が将来ビジョンを定め、着実に政策を進めてきたおかげと考えており、私としては、先人から受け継いだバトンを、よりよい形で引き継ぎ、経済・産業や子どもや教育施策など、未来への投資という視点に立ち、着実に取り組んでまいります。

12月県議会でのその他の質問

◆県税収入の徴収率向上の取り組み結果はどうか。

◆基金を効率的に運用するため、どのような取り組みを行ったのか。

◆財政調整基金や県有施設長寿命化等推進基金の状況はどうか。

◆未利用県有地等の処分の推進及び県有資産を活用した収入確保の状況はどうか。

◆地方交付税の総額確保による臨時財政対策債制度の廃止や、国庫補助負担金の超過負担の解消に係る国への要望状況はどうか。

◆事務事業の見直し状況はどうか。

◆真に必要な事業に対し、どのように重点的に予算を措置するのか。

◆予算における県税収入は、徴収率をどの程度見込んでいるのか。

◆一般競争入札において、入札参加者が１者であった場合の対応を是正すべきと考えるがどうか。

◆保育所等の待機児童解消が進む中で、今後は待機児童ゼロを継続しつつ、次の課題となる子育て政策について、どのように認識しているのか。

◆医療提供体制を確保するため、夏の感染急拡大に際して、どのような対策を行ってきたのか。また、感染の再拡大に備え、どの程度の療養者数を想定し、どのように対応していくのか。

◆ちばぎん研修センターの臨時の医療施設について、宿泊棟の短期入院用の個室には、シャワー、トイレ、エアコンがあるのか。併せて、研修室にある、短期入院用エリアは、パーテーションで区切った個室となるのか。

◆出張や視察時における成田空港の利用促進にどう取り組むのか。

◆県道市川浦安線の市川インター北側交差点において、船橋方面への右折レーンを延長すべきと考えるがどうか。また、市川インター側からの左折車と直進車との接触防止対策が必要と考えるがどうか

◆市川インター北側交差点に接続する市道に左折レーンを設置する場合、県の協力が必要と考えるがどうか。

◆国分前橋東側の交差点に信号機設置を検討できないか。

建設工事の一般競争入札

１者入札、全て有効に 迅速な予算執行が可能

坂下委員　予算の効果を高めるため、どのように現行の入札制度を見直し、予算を適正かつ迅速に執行するのか。

建設・不動産業課長　建設工事の一般競争入札については、入札参加資格の地域要件を県全域以上と広く設定した場合に、１者入札を有効としているところですが、令和４年４月から、地域要件に関わらず全ての案件で１者入札を有効とします。

2月県議会予算委員会

新設の児童相談所 令和8年度開所予定

坂下委員　新設する児童相談所について、相談しやすい環境づくりや早期開所に向けての推進状況はどうか。

児童家庭課副参事　児童相談所の新設予定地選定にあたっては、子どもや家族等が気軽に相談等ができるよう、未利用公有地の中から、公共交通機関や道路アクセスなど、交通機関の利便性も踏まえ決定したところです。現在、令和８年度の開所に向け、基本設計を進めています。

再質問　**坂下委員**　現在の予定では令和８年度の開設となっているが、開設を早めることはできないのか。

児童家庭課副参事　開設時期については、同規模の県有施設の整備スケジュールに準じて設定したものですが、今後とも、できる限り効率的に整備を進めてまいりたいと考えています。

坂下委員　児童相談所の新設に伴い、どのように人員配置を強化していくのか。

健康福祉政策課長　県で

元教員らを小学校 専科非常勤講師に

再質問　**坂下委員**　小学校専科非常勤講師等配置事業について、令和６年度までに全校に配置を目指すとのことだが、非常勤講師及び技能教科専科指導員はどのように確保するのか。

教職員課長　非常勤講師については、教科指導力に優れた元教員等を、また、技能教科専科指導員については、各競技団体の強化アスリートや絵画教室の先生などの外部人材の活用も視野に入れ、確保してまいります。

要望　**坂下委員**　外部人材等について確実に配置できるよう具体的な計画、目標をしっかり立て、取り組んでいただきたい。

は、児童相談所職員の確保のため、採用試験の実施回数の増加や受験資格の緩和など、採用の取り組みを強化しているところです。

医療的ケア児保育支援 657５万円を当初予算に計上

坂下委員　障害のある子どもの療育支援体制の充実についてうかがう。医療的ケア児保育支援事業の充実について、予算の確保状況はどうか。

子育て支援課長　当該事業については、当初予算案において、６５７５万４００円を計上しています。事業の拡充分については、国から詳細が示されていないことなどから計上していませんが、今後、詳細が示され次第、実施主体である市町村の状況を確認し、補正予算による対応などを検討してまいります。